



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 持続可能な地域目指す

【中標津】町と小樽商科大は、地域の課題解決と持続可能な地域社会の発展を目指し、協力する包括連携協定を結んだ。

地域づくりとまちづくり

の推進や産業振興による地域経済の発展、人材育成と雇用創出など12項目で連携する。具体的には「町職員向けビジネススクールの実施」「ふるさと納税返礼品

### 中標津町、樽商大と協定



包括連携協定を結んだ小樽商科大の穴沢学長（右）と西村穰町長

の共同開発」「中標津空港の利活用策の検討」「移住促進への協力」などを挙げる。同大のサテライト拠点の設置も予定している。

樽商大は町内の高校生に起業家精神を教える授業や、町職員向けに研修などを行ってきた。今回の協定は、高等教育に触れられない道民の数をゼロにする同大の「ユニバーサル・ユニバーシティ構想」に基づくもので、道内の自治体との締結は4例目となる。

4日の協定式で穴沢真学長は「ビジネスを学ぶ大学として産業振興にも貢献したい」とあいさつ。西村穰町長は「力添えを頂きながら、まちづくりを進めていきたい」と話した。

(野口今日子)

2023年12月9日(土) 朝刊 釧路・根室版 14ページ (記事は再編集しています)

- ① 中標津町と小樽商科大学が協定を結んだ理由を、記事の中から読み取って書きましょう。
- ② 協定の具体的な内容として挙げられているものについて、それらが地域社会の発展にどのように関わるか、考えて書きましょう。